

ICT を活用した遠隔授業システムの探求

【取組概要】

本取組では、戦略経営研究科（ビジネススクール）において、海外駐在中や地方出張中の社会人が誰でも学べる環境づくりに資する取組として、ビジネススクールにおける可能かつ有効な遠隔授業の形態を明らかにするため、すでに2年前からICTを活用した授業（特にサテライト型の授業）の導入に向けた実績を有する本学法科大学院（ロースクール）と共同で遠隔授業の実現可能性にかかる調査研究を実施します。

本取組を通じて、ビジネススクールにおいては、新たにモバイル型のノウハウを探求し、ロースクールにおいては、サテライト型でのノウハウを継続して蓄積しますが、その成果やノウハウを互いに共有し合うことで、専門職大学院におけるICTを活用した授業の新たな形態を他校に先駆けて開発し、専門職大学院で学びたいという社会人や地方在住者のニーズに、より一層応えていきたいと考えています。

【取組実績】

本取組では、ICTを活用して優れた教育効果をもたらす遠隔事業を実施するにはどうすればよいかという課題を解決しようと2018年から2020年の3年間をかけて試行錯誤してきました。同じ専門職大学院とはいえロースクールとビジネススクールでは、学生の目的や、年齢層、講義の進め方など多くの点で異なっていたため、各スクールが独自にノウハウを蓄積しつつ、1年に2~3回程度の共同企画やFDミーティングを重ねてそのノウハウを共有してきました。以下では、各スクールの取組実績と共同の取り組みの実績について詳しく説明します。

(1) ロースクールの取組実績

ロースクールでは、主に大学間連携を重視し、地方大学と本学ロースクールをオンラインでつないで授業を実施する取組を行いました。具体的には、琉球大学、鹿児島大学、静岡大学等と連携し、地方大学から本学ロースクール生のために授業を実施していただきました。また、本学ロースクールの授業を他大学の学生も受講できるようにして、各大学の学生が相互に意見交換し、議論できるようにしました。その結果、ロースクールにおける授業の多様性をこれまで以上に確保できるようになり、また、学生の視野を広げることもできるようになりました。

(2) ビジネススクールの取組実績

ビジネススクールでは、最初の2年間は学生が出張先等から教室に接続して平日夜間の講義をリアルタイムで受講できるシステムを試行錯誤しながら構築していきました。

2年が終わった段階でシステムや設備、受講マニュアル等が整い、実証実験を大規模に実施しようと考えていた矢先にコロナ禍が到来し、奇しくも想定以上の大規模な実証実験を行うことになりました。その結果、2年間の準備が功を奏し、オンライン会議システムによる遠隔双方向型講義を非常勤講師の先生も含めた全ての講義で実施することができました。具体的には、全ての先生が自宅からでも滞りなく講義を実施できるように講義実施マニュアルを改定し、大学からの配信には2つの

教室を遠隔講義用のスタジオに改装して対応しました。また、オンラインでも教室でのグループ・ディスカッションの雰囲気と学習効果を再現するために、ブレイク・アウトセッションや Google Jam board 等のツールの使い方も共有しました。

<参考>

今、この時だからこそ、チェンジ・リーダーを目指す CBS のコミュニティへ

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/news/2020/07/50250/

CBS のコミュニティが目指す With コロナの新たな学び：CBS 型ハイブリッド講義

https://www.chuo-u.ac.jp/academics/pro_graduateschool/business/news/2020/12/51908/

(3) 協働での取組実績

ロースクールとビジネススクールの協働の取り組みとしては、ビジネススクールの教員が地方のロースクールの学生向けにオンライン講演会を実施したり、ICT 活用の先進的な取り組みをしている専門職大学院の先生に合同 FD 研修会でご講演いただいたりしました。

2023 年度には、ロースクールとビジネススクールは同じキャンパスで一緒に教育・研究に取り組むようになりますので、この取組で構築した関係と活動をさらに深化させて、両スクールの学生にとってより良い ICT を活用した遠隔講義を提供することを目指していきたいと思います。